

ブルーシート設置の講習会を実施できるNPO団体のご紹介



- 令和元年の房総半島台風や東日本台風の暴風等により、千葉県では南部を中心に、多数の住宅が屋根の破損等の被害を受け、応急対応としての被災家屋へのブルーシート設置が施されたが、対応できる地元の事業者が不足した。
- このため、消防機関、建設業界、NPO団体、自衛隊等が、自力で設置することが困難な被災者等に設置支援を行ったが、その際、設置技術を有するNPO団体が、これらの支援者や一般の方々を対象にブルーシート設置の講習会を行った。
- 今後の災害時にも、応急対応としての被災家屋へのブルーシート設置ニーズが急増し、被災地に設置対応ができる地元の人材が不足するおそれもある。
- このため、安全かつ効果的なブルーシートを設置ができる者を確保できるよう、設置の講習会を実施できるNPO団体の情報についてご紹介する。
- 災害時に慌てることのないよう、平常時から講習会を実施し、地域の災害対応力を向上することもお勧めしたい。

【ブルーシート設置の講習会に関する問合せ先】

講習会への問合せ、申込みについては下記担当へご連絡下さい。

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD） 担当：鈴木
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル267-B 電話：080-5961-9213 メール：info@jvoad.jp

【ブルーシート設置の講習会を実施出来るNPO団体】 *各団体の詳細情報については別紙ご参照下さい。（⑤、⑥はなし）

団体名	代表者	団体の本拠地	講習会の経験*
①災害ボランティア愛・知・人	赤池 博美	愛知県春日井市	木更津市
②関東風組	小林 直樹	千葉県松戸市	鋸南町
③コミサポひろしま	小玉 幸浩	広島県呉市	鋸南町
④災害救援レスキューアシスト	中島 武	大阪府	鴨川市
⑤DEF-災害エキスパートファーム	鈴木 暢	-	鋸南町
⑥Big Up 大阪	松本 佑樹	大阪府	南房総市

*：令和元年房総半島台風の際の千葉県内での講習会開催地

【ご参考】ブルーシート設置の講習会について

【ブルーシート講習会のプログラム】 * 令和2年3月に千葉県にて実施された講習会の参考例

・所要時間：3時間

1. ブルーシート設置の必要性について
令和元年房総半島台風の被害状況と現状、ブルーシートの設置し直しの可能性。
2. 適切な材料選び
長持ちする材料で設置し直し回数を減らす。
3. 安全確保
安全配慮、ザイル、ロープワーク、ハーネスの説明
4. 効果的な設置方法
土嚢、野地板を使用する工法、屋根の名称や名前
5. 災害支援センター等からの説明など

【ブルーシート設置講習会の様子】



No 23-1	記載年月日 2019年3月
------------	------------------



災害ボランティア愛知人

団体プロフィール

法人名：	災害ボランティア愛知人	本部所在地：	愛知県春日井市上条町5-100 栄林ハイツ第二102
設立年月日：	2011年4月3日	本部TEL：	090-9231-0827
年間収入規模：	5,000,000 円 (2018年度)	本部Fax：	0568-84-0705
常勤職員数：	1名(無報酬)	本部E-mail：	aichijin0311@gmail.com
代表名：	赤池博美	Website：	http://ai-chi-jin.lolipop.jp
平時的な活動分野・地域	主な活動分野：防災・減災活動 主な活動地域：愛知県春日井市		

平時的な主な活動実績・事業概要

社会福祉協議会・自衛隊・地域のイベントに参加し、ボランティアの心、防災意識を高める活動を行っています。チャリティーグッズの販売、メンバーの交流を深める為のバーベキュー大会などのイベントも行っています。

過去の災害時の主な活動実績

- 東日本大震災（2011年～）
石巻市ボランティアセンターで活動。東松島市矢本運動公園仮設住宅（現在はあおい復興住宅）で炊出しやイベント活動支援を行い、6年間で計18回遠征。
- 熊本地震（2016～）
民間ボランティアセンター「D・A・W」を立ち上げ、8か月間運営。
- 九州北部豪雨（2017年～）
水害被災地支援活動を継続中。

この他、毎年起こる台風の水害被災地で家屋復旧・清掃活動を実施。

コンタクト先

氏名（役職）：事務局 萬谷裕美子

Email:aichijin0311@gmail.com

No Z-5	記載年月日 2019年3月
-----------	------------------

風組関東

団体プロフィール

法人名：		本部所在地：	茨城県つくばみらい市陽光台1-7-4-501
設立年月日：	2004年11月1日	本部 TEL:	08059035085
年間収入規模:	700,000 円(2018年)	本部 Fax:	
常勤職員数：		本部 E-mail:	akatsukivn@gmail.com
代表名：	小林 直樹	Website:	https://www.facebook.com/zkaze/
平時の主な活動分野・地域	主な活動分野: 災害救援活動 主な活動地域: 関東地方		

平時の主な活動実績・事業概要

- ・動力工具等を活用した災害救援講習会(DRT)
- 2007年～2018年(宮城・栃木・新潟・東京・神奈川・山梨ほか)
- ・社会福祉協議会主催災害ボランティア研修講師派遣
- 2013年～2018年(岩手・群馬・栃木・新潟・山梨・東京・名古屋・三重ほか)

過去の災害時の主な活動実績

- 2004年 新潟県中越地震
- 2005年 平成18年豪雪(新潟県小千谷市)
- 2006年 平成18年7月豪雨(長野県岡谷市・箕輪町)
- 2007年 能登半島地震(石川県輪島市、志賀町)、新潟県中越沖地震(新潟県柏崎市)
平成19年北秋田豪雨(秋田県北秋田市)
- 2008年 岩手宮城内陸地震(岩手県一関市ほか)平成20年7月豪雨(石川県金沢市)
平成20年8月豪雨(神奈川県相模原市、愛知県岡崎市)
- 2009年 中国・九州北部豪雨(山口県防府市)
- 2010年 台風9号(静岡県小山町)
- 2011年 東日本大震災(東北各地)新潟福島豪雨(福島県金山町)
- 2012年 茨城・栃木県竜巻災害(茨城県つくば市、栃木県真岡市)
- 2013年 台風18号(岩手県雫石町)台風26号(東京都大島町)山形豪雨(山形県南陽市)
- 2014年 関東豪雪災害(山梨県甲府市、大月市)山形豪雨(山形県南陽市)
平成26年8月豪雨(京都府丹波市、福知山市)神城断層地震(長野県白馬村)
- 2015年 台風18号(栃木県鹿沼市、茨城県常総市)
- 2016年 台風10号(岩手県宮古市、岩泉町)台風16号(鹿児島県垂水市)熊本地震(益城町ほか)
- 2017年 九州北部豪雨(福岡県朝倉市)台風18号(大分県津久見市、埼玉県川越市)台風21号(三重県玉城町)
- 2018年 島根県西部地震(島根県大田市)秋田豪雨(秋田県秋田市)大阪北部地震(大阪府茨木市)
平成30年7月豪雨(岡山県倉敷市ほか)

活動内容: 主に災害初期の家屋の応急処置、炊き出しシステム貸与、各セクタ向けの家屋復旧に向けた臨時講習会など

参加団体: (東京都)全国災害支援団体ネットワーク(JVOAD)技術系専門委員会
(愛知県)震災がつなぐ全国ネットワーク(認定NPOレスキューストックヤード)

コンタクト先

氏名(役職): 小林直樹(代表) Email: akatsukivn@gmail.com

34-2

記載年月日
2020年3月



コミサポひろしま

団体プロフィール

法人名：	コミサポひろしま	本部所在地：	広島県呉市吉浦新町1丁目2-31
設立年月日：	2015年4月1日	本部 TEL:	090-7979-0000
年収・年商規模 (年度)：	-円 (-年)	本部 Fax:	-
常勤職員数／社 員数：	1人	本部 E-mail:	mtkailash.tibet2001@gmail.com
代表名：	小玉 幸浩	Website:	https://mtkailashtibet2001.wixsite.com/mysite https://www.facebook.com/comsup.hiroshima
平時的主な 活動分野・地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な活動分野：被災地緊急復旧支援にかかる活動、講習会等、防災啓発にかかる活動 ・ 主な活動地域：広島県内はじめ全国 		

平時的主な活動実績・事業概要

当団体は、2014年広島土砂災害を契機として設立されました。主に災害発生後の復旧期において、技術が必要とされる活動（重機を活用した土砂・瓦礫の撤去、屋根の補修応急）、ボランティアコーディネート等を中心とした活動を実施しています。

過去の災害時の主な活動実績

- ・ 2015年北関東・東北豪雨 常総市における災害復旧支援 6か月程度
- ・ 2016年熊本地震 益城町における災害復旧支援 1年程度
- ・ 2016年鳥取中部地震 倉吉市における災害復旧支援 1か月程度
- ・ 2017年九州北部豪雨 東峰村における災害復旧支援 1か月程度
- ・ 2018年島根県西部地震 大田市における災害復旧支援 1か月程度
- ・ 2018年西日本豪雨 呉市における災害復旧支援 継続中
- ・ 2019年台風15号災害 千葉県鋸南町における災害復旧支援 6か月程度 他多数

【参考になるウェブサイト URL】 <https://mtkailashtibet2001.wixsite.com/mysite>

コンタクト先

氏名：増田 勇希

Email：mtkailash.tibet2001@gmail.com

No Z-29	記載年月日 2019年3月
------------	------------------



団体プロフィール

法人名：	法人格ではないので未記入	本部所在地：	
設立年月日：	2016年4月	本部TEL：	07065415489
年間収入規模：	円（ 年）	本部Fax：	
常勤職員数：	1名	本部E-mail：	rescueassist.japan@gmail.com
代表名：	中島武志	Website：	https://www.rescue-assist.net/
平時の主な活動分野・地域	主な活動分野： 防災・減災のための講習会や勉強会及び講演会 主な活動地域： 大阪府		

平時の主な活動実績・事業概要

2016年4月に要援護者支援を目的とした団体「要援護者支援NPOレスキューアシスト」を立ち上げた直後に熊本地震が発災。前震直後に熊本に入り現地で活動。以後二年間に及ぶ支援活動を熊本に拠点を置き行った。

関西に戻り来るべき南海トラフ地震に備えるべく準備を始めた直後に大阪北部地震が発災。現在に至るまで茨木市に拠点を置き活動中である。

よって、平時の活動実績はまだないが、茨木市および茨木市社会福祉協議会との連携で運営している大阪腹部地震ならびに台風21号対応の活動拠点「茨木ベース」においては今後の災害に備えるべくトレーニング施設を準備中である。すでに屋根の応急処置活動のための勉強会や、安全講習を実施。また、心肺蘇生法の講習会なども行っている。

※行政との「協定」締結先の団体名（県、市町村等）、部局名、協定内容（概要）：近く茨木市ならびに茨木市社会福祉協議会となんらかの明文化された連携を結ぶ方向では進んでいます。

過去の災害時の主な活動実績

「レスキューアシスト」としての活動は2016年以後になるが、それ以前の代表の活動歴を合わせて記載します。

東日本大震災以降、各被災地に赴き活動を行った。活動内容は物資搬入、仕分け、配布、避難所支援、炊き出し、現地調査など多岐に渡る。また、水害被災地では泥出しや床はがしなども行った。

コーディネーターとして活動することも多く、2011年台風12号災害（和歌山県那智勝浦町）や2014年台風12号災害（徳島県海陽町）、2014年8月豪雨（京都府福知山市・丹波市）ではコーディネーターとして活動。ボランティアセンターの設立スタッフとしても活動した。

2015年の関東・東北豪雨（常総市鬼怒川決壊）では社協のボランティアセンターの運営支援を行い、行政や社協との連携を図った。

2016年熊本地震においては熊本市社協と連携のもと、熊本市東区秋津出張所に民間ボランティアセンターを設立。他団体とともに屋根の応急処置活動や、危険なブロック塀の解体などを行った。2年間にわたり熊本に拠点を置き、熊本市内だけでなく益城町や西原村など、多くの団体と密に連携しながら活動を行った。

2018年に熊本から帰阪直後に大阪北部地震が発生。茨木市及び茨木市社協、そして多くの技術系災害ボランティア団体と連携し「大阪北部地震救援技術系プロボノ茨木ベース」を立ち上げ、その運営団体の中心として現在も活動中である。2018年11月末時点で6月18日の地震発生からの延べ活動人数1963名、活動件数581件、そのうち屋根のブルーシート応急処置軒数283軒、講習会等21件となっている。活動内容のポイントとして独自のトリアージ基準に準じた優先順位と要配慮者（高齢者、障がい者、貧困層など）を優先することで、置き去りにされがちな災害弱者に寄り添いながら活動を行っている。

2018年西日本豪雨災害では、大阪から後方支援として茨木市社協と連携を取りながら物資支援やボランティアベースの立ち上げをサポートした。

2018年9月台風21号被害により大阪北部地震の被害が拡大、活動場所を広げるため地元ボランティア団体が自立活動できるようにサポートしながら、常に先の災害を見据えて活動を継続している。

※平時より加盟・参加している「災害時を想定した会議・連携組織

大阪災害支援ネットワーク（OSN）

（主催団体：大阪府社協・大阪市社協・堺市社協・大阪ボラ協・大阪府生協連・日赤大阪府支部・日本防災士会 大阪府支部・ゆめ風基金）

JVARD

震災でつながる全国ネットワーク

コンタクト先

氏名（役職）： Email:rescueassist.japan@gmail.com

代表： 中島 武志

副代表： 津田 啓史

事務局： 油井 貴代子